

# 萱瀬☆物語

大村市立萱瀬小学校

学校だより 第46号

令和6年2月8日発行 校長 高以良康弘

「やさしく」「かしこく」「たくましく」

## 学校給食週間

～給食に感謝！～

インフルエンザの流行が大村市内の小中学校でも広がってきています。本校でも発熱等の症状で欠席する児童が増えました。あさってから3連休の過ごし方にも人混みを避ける等十分お気を付けください。

さて、給食に携わるいろいろな人の苦勞を知り、感謝の気持ちを表すとともに、食べ物を大切にしようとする心を育てる。また、毎日の食事が健康に過ごすために大切なこと・今の食事が将来の自分自身の身体を作っていることを知り、好き嫌いをせずに食べようとする態度を育てること等を目的として、1月24日～1月30日の期間を給食週間としています。

本校でもこの週間に合わせ、以下のような取組を行いました。

- ①給食集会（縦割り班でスタンプラリー）
- ②校内放送講話 学校栄養職員（富の原小 立花先生）からのメッセージ（担当の古川先生代読）
- ③調理員・配送員さんへ質問し、回答していただいたことを放送・掲示する。
- ④調理員さん方へ感謝の手紙を書く。

小学校給食センターでは、調理員さんが、毎日時間に遅れないように市内小学校約7000食もの給食（中学校分は、中学校給食センターで別に調理）を作ってくださっています。給食後はその分の食器洗いも行ってくださっています。牛乳や給食、食器類を運んでくださっている配送員さんもいらっしゃいます。栄養を考えながら毎日の献立を考えてくださる学校栄養職員さんも含めて、給食に関わる多くの方々に感謝する気持ちを忘れず、給食をいただきたいと思います。

ご家庭でも、身体を作り健康を守る源である「食事の大切さ」について、お話しいただければと思います。



【給食委員会による集会】

## 転入児童紹介

ようこそ萱瀬小へ！

アメリカから新しい友達が来ましたので紹介します。

4年生 女子児童

昨年3年生時の夏に体験入学で一度本校にも来たことがありますので、子どもたちはお互いに顔見知りです。 みなさん、よろしくお願いします。

## 租税教室(6年)



1月26日に社会科学習の一環で、6年生を対象に標記学習を行いました。「税なかったら世の中はどうか」を、児童に自ら考えさせることを通して、税金の必要性・大切さを理解するために行われました。

6年生の子どもたちも普段あまり意識していない税金の必要性を学び、ジュラルミンケースに入った札束（1億円）の見本を持つなどして興味をもって学習に参加していました。



## 校長室の窓から

### 「いま ここ じぶん その合計が じぶんの一生」

この言葉は、相田みつをさんの言葉です。「これまで、自分がしてきたことの積み重ねが、今、ここにいる自分をつくっています。だからこそ、これまで上手くいったことも、いかなかったこともすべてに価値があり、無駄なことなど一つありません。」という意味です。

いよいよ今年度も残すところ1か月と少しになりました。この1年間を振り返って、学校や家庭で、上手くいったこと、いかなかったこと、嬉しかったこと、悲しかったことなど様々なことがあったと思います。それらのすべてのことがあったからこそ、今、ここに自分がいるのです。そして、今、ここにいる自分がしていることが、来年の自分をつくっていきます。

### 民生委員さんの立哨指導 ～ありがとうございました！～

1月19日の登校時、民生委員の方々が立哨指導をしてくださいました。学校の正門側と裏の通用門側に分かれて、立ってくださいました。

終わった後、民生委員さんに子供たちの様子がどうだったか話を聞いてみたところ、「とても元気よく挨拶をしてくれましたよ。」「登校後に朝から運動場で楽しそうに遊んでいる子供が多いですね。」と嬉しい言葉をいただきました。朝の忙しい時間帯に、子どもたちの登校の見守りをしていただいて感謝です。



### 保育園児との交流会（いらっしゃい！）

1月31日、萱瀬保育園からかわいいお客さんが来ました。小学校の見学や1年生とのふれあい体験を行う交流会です。保育園児の中には4月から萱瀬小に入学予定のお子さんも他小学校に入学予定の子どもたちもいます。

最初に玄関で元気よく挨拶をして、目にとまった大谷グローブを手にして喜んでいました。そして、体育館でお互いに自己紹介やゲームを行い、1年生が保育園児を案内して学校の施設見学（ミニ学校探検）を行っていました。校長室や職員室にも入ってきて、興味深そうに眺めていました。1年生にとっては、お兄さんお姉さん気分を味わえたひとときだったことと思います。微笑ましい交流会でした。



### 学校保健研究大会が開催されました

2月4日、さくらホールにおいて、市学校保健会の主催で標記大会が開催され、薬剤師の峰 邦彦 先生の「子どもと睡眠習慣」という講演をお聞きました。その講演の主な話の内容は①学習への影響②健康への影響③睡眠の改善方法の3つがありました。たくさん寝ればいいわけではなく、効率のいい睡眠時間があること。ある調査によると、成績が良かった人の平均睡眠時間は小3年も小6年も同じで約9時間、中2年で約8時間、この時間より長くても短くても成績は落ちていたそうです。徹夜（寝不足）も休日等の寝だめも学力には悪い影響を及ぼすそうです。睡眠と不登校の関係、不安症についてもありました。睡眠が不規則なほど昼夜逆転で朝起きられなくなったり、暴力的になったりしやすい。睡眠が乱れると精神的に不安定になりやすい。大切なのは睡眠も含めた1日の生活リズムであること。（睡眠・食事の時間が、平日も休日でもできるだけ同じリズムが望ましい。）夜寝るときの部屋の明るさは、明るすぎるとよくない。真っ暗でも間接照明等で薄暗い状況でもそれはどちらでも影響はない。ということでした。改めて大人も含めて睡眠の大切さを教えていただきました。